

科目名称 (Course Title)				担当教員 (Instructor)	
卒業研究 I				塩見 直紀	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2 単位	4 年次	演習	※「専門研究」から 持ち上がり	
授業の概要 (Course Description)					
この演習は卒業論文の作成を目的とする。卒業論文のテーマは、各自の関心分野、めざす就職先（起業含）や描く人生像などに基づいて決めるが、「まちづくり」「移住施策」「交流（ツーリズム）」「地域資源発掘」「コンセプトメイク」「社会起業／コミュニティビジネス」「ソーシャルデザイン」「ローカルメディア」「持続可能なライフスタイル」等に関するテーマが望ましい。演習は各自の進捗報告と質疑応答を中心に進める。					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 各自の研究テーマについての資料・文献を収集できること 2. 研究テーマに関して課題を整理し、小さくとも新しい発見を世に提示すること。（卒業論文を執筆し、研究成果を報告する） 					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	研究テーマ設定 1				
第 2 回	研究テーマ設定 2				
第 3 回	研究テーマ設定 3				
第 4 回	研究テーマ設定 4				
第 5 回	先行研究の文献収集と整理 1				
第 6 回	先行研究の文献収集と整理 2				
第 7 回	先行研究の文献収集と整理 3				
第 8 回	先行研究の文献収集と整理 4				
第 9 回	先行研究の文献収集と整理 5				
第 10 回	先行研究の文献収集と整理 6				
第 11 回	先行研究の文献収集と整理 7				
第 12 回	先行研究の文献収集と整理 8				
第 13 回	論点の設定 1				
第 14 回	論点の設定 2				
第 15 回	論点の設定 3				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
思索を重ねること。					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
授業への取り組み姿勢 (20%) 課題 (80%)	秀:情報収集・分析に秀で、問題点を論理的・客観的に把握し、首尾一貫した論理的な報告発表ができる。 優:情報収集・分析を適切に行い、問題点を把握し、首尾一貫した論旨の報告・発表ができる。 良:一定の情報収集・分析ができ、問題点を把握して、その報告発表ができる。 可:情報収集・分析をして、その成果につき、一定の発表ができる。 不可:情報収集が不十分で、報告発表の内容が不十分である。
テキスト (Textbook)	【書名】 【著者】 【出版社】 【出版年】
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	個別に紹介する。
備考 (Other Information)	欠席厳禁。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	メール (conceptforx@gmail.com) で連絡すること。